

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和4年度第1回松阪市子ども発達総合支援センター 経営評価委員会
2. 開 催 日 時	令和4年7月22日（金） 午後2時から午後3時15分
3. 開 催 場 所	松阪市下村町 875 番地 1 松阪市子ども発達総合支援センター 多目的室 1
4. 出席者氏名	（委 員）宮下真有美、○八田久子、後 建夫、谷口 壽、◎佐藤 祐司、澄野久生、大辻結花、池田博紀、大野千賀子 （◎委員長 ○副委員長） （事務局）谷中靖彦こども局長、荒木章次子ども発達総合支援セン ター所長、青木覚司副所長、塩野裕美療育支援担当監、金児美季 育ちサポート担当監、本田めぐみ育ちサポート担当主幹
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0 人
7. 担 当	松阪市下村町 875 番地 1 松阪市健康福祉部こども局子ども発達総合支援センター 担当者：青木 電 話：0598-30-4411 F A X：0598-30-4433 E-mail：kod.dev.c@city.matsusaka.mie.jp

事項

1. 挨拶
2. 松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会委員の交代について
3. 議 事
 - (1) 経営評価に関する資料に対するご意見等の回答について
 - (2) 経営評価シート（事業実施関係）について
 - (3) サービス提供自己評価結果について
 - ①児童発達支援事業
 - ②放課後等デイサービス事業
 - ③保育所等訪問支援事業
 - ④障害児相談支援事業
 - ⑤発達に関する相談支援事業関係
4. その他

議事録

別紙「令和4年度第1回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会議事録」のとおり

令和4年度 第1回 松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会 議事録

日 時：令和4年7月22日（金）14:00～15:15

場 所：子ども発達総合支援センター 多目的室1

出席委員：宮下真有美、八田久子、後 建夫、谷口 壽、佐藤祐司、澄野久生、大辻 結花、池田博紀、大野千賀子

事務局：谷中靖彦こども局長、荒木章次子ども発達総合支援センター所長、青木覚司子ども発達総合支援センター副所長、塩野裕美療育支援担当監、金児美季育ちサポート担当監、本田めぐみ育ちサポート担当主幹

配付資料：

- ・令和4年度 第1回松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会事項書
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会委員名簿
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営評価に関する資料に対する意見等
[5月23日送付資料に関するご意見・ご質問への回答]
- ・松阪市子ども発達総合支援センター経営評価シート 【資料1】
- ・児童発達支援 自己評価結果 【資料2】
- ・放課後等デイサービス 自己評価結果【資料3】
- ・保育所等訪問支援事業 自己評価シート【資料4】
- ・障害児相談支援事業 自己評価シート【資料5】
- ・発達に関する相談支援関係 自己評価シート【資料6】

[議事録]

1. 挨拶

【司会】

本日はご多忙のところ、当委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。ただ今から令和4年度第1回「松阪市子ども発達総合支援センター経営評価委員会」を開催します。

2. 経営評価委員会の交代について

市の人事異動により委員の交代がありました。

新委員紹介及び事務局職員自己紹介

【司会】

それでは議事に入らせていただきます。なお当委員会規則第6条によりまして、委員長が議長となりますのでよろしくお願いします。

3. 議事

【議長】

それでは、お手元の事項書に沿って進めさせていただきます。

事項書の3「議事」の(1)「経営評価に関する資料に対するご意見等」について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

松阪市子ども発達総合支援センター経営評価に関する資料に対する意見等より説明

【議長】

事務局の説明が終わりました。説明・資料に関しまして何か質問・意見等ありませんか。

【委員】

歳入の関係ですが、令和3年度は児童発達支援センター化をしましたが、コロナ禍の状況もあり運営は難しかったと思います。現状どう理解されていますか。

【事務局】

児童発達支援センター化により国からの報酬単価のアップにより収入は大幅に増加しています。コロナによる利用児童数の減を財政的にカバーしている状況です。

【委員】

財政は安定化していると理解していいですか。

【事務局】

センター化したことで安定化したと考えています。

【議長】

他にいかがですか。ございませんか。では、私の方から2つ質問させていただきます。

1つ目は資料1（保護者等からの事業所評価）の2ページの9、15、また3ページの21についてですが、「いいえ」「わからない」の比率が高くなっています。このことについてどのように考え対応していくべきだと思われていますか。2点目は資料2（経営評価シート）の1ページに記載させている一般財源についてです。前身の療育センターから比べると数段予算規模が大きくなるのは仕方ないことだと思いますが、そだちの丘が利用者から利用価値のある施設であると思っ
ていただいているかが問題であると思っています。このことについてどう考えていますか。

【事務局】

1つ目の質問についてですが、地域との交流や保護者間の交流が少ないのではないかという意見をいただいています。そだちの丘には市内各地域から通っていただいています。地域の方との交流は難しいと考えています。療育・訓練の中で時間を作るのが難しい状況です。

また、保護者間の交流についてですが、現在保護者の会はありません。ただ、保護者の方々が

保護者交流室で集団療育の前に集まってお話をされたり、松阪あゆみ特別支援学校の見学会を主催して就学前の保護者の相談を受けたり、先輩の保護者から疑問に対するアドバイスをもらう取り組みなどを行っています。ただ去年は対面での取り組みが難しく書面での対応となりましたが、引き続き交流を図ってまいります。

避難訓練につきましては年2回行っています。ただ令和2年度からはコロナの感染拡大により職員のみで実施しています。時期をみて今後は利用者の方々も参加していただいて訓練を実施していきたいと考えていますが、避難訓練を実施していることが利用者の方に浸透していないことから「わからない」という回答になったと感じています。

2点目の予算についてですが、療育センターの時から比較すると大きく膨れあがっています。当時と比べると専門的な職員が多く在籍しています。そだちの丘は専門的な訓練を受けることができる場所として保護者の方に認知していただいております。多職種の職員を確保するため人件費がかかり今回の予算となっています。この施設は人材が一番だと思っていますので、このような予算規模になっています。

【議長】

ありがとうございました。

続きまして、「議事」の(2)経営評価シート(事業実施関係)について、事務局から説明願います。

【事務局】

資料1(松阪市子ども発達総合支援センター経営評価シート)説明。

【議長】

ありがとうございました。事務局の説明が終わりました。ご質問ご意見お願いしたいと思えます。

【委員】

P6の「保育所・幼稚園・認定こども園・小中学校等訪問支援巡回相談事業」はどのような事業ですか。

【事務局】

この事業は「育ちサポート係」の臨床心理士が各保育園や幼稚園、特別支援学校教員等が学校を訪問する事業です。保育園などから児童の発達について気になることがあり相談したいと要望があった時に各施設を訪問し、話を聞いて助言や技術支援を行う事業です。P5の保育所等訪問支援事業は、保護者からの申請によりセンターの専門職が施設に出向き、直接児童への指導や職員への助言や技術指導を行う事業となっています。

【委員】

そだちの丘に通所している児童が職員と一緒に保育園などを巡回するのかと思っていました。そのような考えはありませんか。

【事務局】

センターに通っている児童は、集団療育の中で他の児童や大人との交わりをトレーニングしています。幼稚園や保育園に通ってみえる児童はそだちの丘に通いつつ、地域の保育園などに通っていますが、様子が違う場合はそだちの丘の職員が出向いて指導をさせていただいています。幼稚園や保育園に通っていない児童をどこかの園で集団生活は難しいと思っています。そだちの丘の集団療育の中で交わりを訓練していただきたいと考えています。

【委員】

特別支援学校に通う子は地域に友達がいないのが現状です。地域に溶け込んでいくには、地域の子どもたちと一緒に活動できるような環境を作っていきたいと思っています。

【委員】

特別支援学校に通う児童が居住地の小中学校と交流する機会は、今は年2・3回程度ですが、もっと日常的に交流することができないかと教育委員会においても検討を進めているところです。地域の学校も特別支援学校もそれぞれ事情があり、課題もありますが、調査研究を進めているところです。

【委員】

小さい頃から触れ合うことで友達もでき、地域の方の理解も進むと思います。とても大事なことだと思います。出来る限りでいいのでもっと触れ合える機会を作ってあげて欲しいと思います。

【議長】

貴重な情報ありがとうございました。他にございませんか。

無ければ私から1点質問します。P7人材育成事業についてです。

そだちの丘の機能として療育や訓練のサービスを提供するだけでなく、施設を利用して次の担い手になる方を育てる人材育成の事業がありますが、この事業の評価が基準値のB評価となっています。今後の取り組みについてどう考えているか聞かせてください。

【事務局】

人材育成事業については、センター職員が講師となり関係機関の方を対象に研修を行っています。

その研修会の前にセンターの職員に対しプレ研修会を行っています。職員がどう話をしてどう展開すればいいか、資料作りなど試行錯誤しながら職員間の意見を踏まえる中で意見をまとめて最終的に外部の方に提供させていただいています。職員も普段の業務の振り返りが出来、人に話すことで改めて自分の認識と技術の向上につながっていると感じています。

参加者からのご意見をいただき自己を反省する場面でもありますので、職員にも有意義なものとなっています。各専門職も数人いますので、毎年メンバーを入れ替えて講師として担当するような形で今後も進めていきたいと考えています。

【議長】

ありがとうございました。他にございませんか。

では、続きまして「議事」の(3)「サービス提供自己評価結果について」、事務局から説明願います。

【事務局】

資料2～資料6（自己評価シート）説明。

【議長】

それでは、説明・資料に関するご質問、ご意見等をお願いします。

【委員】

放課後児童クラブを管轄しています。

資料3の26 放課後児童クラブや児童館との交流は無いとの事でしたが、センターに通う子どもたちは障がいのない子たちと交流することで非常に刺激を受けるとのことでした。また、放課後児童クラブの子どもたちも障がいのある子たちと触れ合うことでいろんな学びがあると思います。今後、どのようなことかできるか研究していきたいと思います。

【議長】

前向きなご意見ありがとうございます。他にございませんか。

無ければ私からコメントと質問をします。

資料2・資料3の自己評価結果の「いいえ」に○が付いていて、課題や改善すべき点が書かれていないところが何か所かあります。事務局から口頭での説明はありましたが、出来ていないことに対して何も触れられていないのはどうかと思いますので検討をお願いします。

質問については、谷中局長にお伺いします。

自己評価はB評価が多くなっています。S評価からD評価までの5段階評価のBは基準だと思うのですが、市の中でも様々な評価基準があると思いますが、評価点の付け方についてお伺いします。

【事務局】

1点目の「いいえ」に対する課題や改善点の記述については、改めさせていただきます。

2点目の評価点につきましては、今回の自己評価としましては、S評価が100点とするならば、Aは80点、Bは60点という感覚でとらえています。

【議長】

評価点がそうであるならば、B評価が多い状況でありますので、AやSを求めていく取り組みをお願いします。

【議長】

本日、予定していました議事は、これですべて終了しました。残りの進行につきましては、事務局にお返しします。議事の進行にご協力いただきありがとうございました。

【司会】

長時間ご審議いただき、ありがとうございました。また、議事進行につきましてもご協力いただきありがとうございました。

委員の皆様から何かご意見ご質問等ございますか。

【司会】

これをもちまして、第1回経営評価委員会を終了とさせていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。気をつけてお帰り下さい。